



神宮前だより

「今できることを全力で」

校長 手代木 英明

この春、巣立っていった卒業生に式辞で贈った言葉です。卒業生は、感染症予防をしながら、新しいスタイルの行事をつくり上げ、全校をリードしてきました。卒業式では、中学校形式の児童代表の言葉の後に「明日へ続くこの道を」の全員で合唱をしました。そして、小学校生活最後の校歌も元気で美しい歌声を体育館に響かせました。教室で「Zoom」のライブ配信を見て、参列した五年生にも卒業生の気持ち伝わったはずですが、

門送りでは、五・六年生が校庭に整列し、「呼びかけ」を行い、五年生の鼓笛の演奏で、卒業生の門出を祝いました。スポーツデイなどでリーダーシップを発揮し、下級生に優しく教えていた卒業



生の姿を見てきた、新六年生。今日からは、最上級生として、神宮前小学校をつくり上げていきます。

令和三年度、新一年生六十七名を迎え、全校三百七十四名、全教職員一同、「今できることを全力で」取り組み、コロナ禍を乗り越えていきます。

学習者用デジタル教科書導入

神宮前小学校の児童用タブレットに、国・社・算・理・英の五教科の「学習者用のデジタル教科書」が、導入されます。これまでの紙の教科書をPDF化したものですが、音声読み上げ機能が付きます。子供たちには、紙の教科書とデジタル教科書の両方が配布されますので、新しいスタイルの授業や家庭学習ができるようになります。

また、家庭と学校の連絡を連絡帳から「HOME&SCHOOL」に移行します。保護者会で説明し、五月の連休明けからの本格的な運用を目指しています。「HOME&SCHOOL」への全員登録を目指しています。

欠席や遅刻・早退の連絡や担任との情報交換などのすべてを「HOME&SCHOOL」で行いますので、ご協力をお願いいたします。

国際社会を生き抜く神小の子を 目指して 「シブヤ科の実施」

今年度から、地域と学校のことを学びグローバル社会を生き抜く力をはぐくむ「シブヤ科」が始まります。学校や地域の歴史を調べ、渋谷のことを学び、学校と地域に誇りをもつ「シブヤ・シティー・プライド」を育てていきます。

「文章や資料から深く読み取る子供を 育てる。」としました。

昨年度は、「人の話を一度で聞き取る子」を重点に教育活動をすすめてきました。今年度は「読む力」を重視します。

○ 子供たちのリーディング・スキルを高めていきます。文章がしっかりと読み取ることができなければ、思考力は育ちません。発達段階に合った、美しい日本語の文章をたくさん読み取ることでリーディング・スキルを高めていきます。

また、他校に比べて読書量が少ないことが、児童に対するアンケート調査で分かりました。本をたくさん読む取り組みを行っていきます。

○ 創立90周年の活動で集めた文献や資料を整理し、神宮前の歴史を調べる活動を通し、情報収集・活用能力を育てていきます。

このように今年も「子供ファースト」で教育活動をすすめて参ります。ご協力をよろしく願っています。

四月の生活指導 ねらいをのぞく、 仲良し生活しよう

令和三年度が始まりました。

コロナウィルスの感染状況は依然として予断を許さない状況が続いています。今年度も「手洗いうがい」の徹底等、基本的な感染対策を行いながら、子供たちが少しでも充実した学校生活を送ることができるよう尽力していきます。

さて、学校には、たくさんの子供たちが、楽しく・気持ちよく・安全に生活するために、いろいろなルールがあります。本校では「水車の子」(遊び・学習・生活・タブレットの約束)というきまりを、四月初めに各学級で確認します。

きまりは、すべての人が尊重されるために定められているものですので、一人一人がその意義を理解して「守る」ということが重要です。時には自分の思い通りにならないことがあるかもしれませんが、そんな時に、ちょっと立ち止まって、自分のことだけでなく、周りのことや友達のことを考えて行動ができる、そんな子供たちを育てていきたいと思えます。今年度もどうぞよろしく願っています。

(生活指導部)